

「シェルと空間構造に関する夏期セミナー2006」

Second Announcement and Program

2006 年度の「シェルと空間構造に関する夏期セミナー」にご参加の申し込みを頂き、ありがとうございます。プログラム等の詳細が以下のように決まりました。発表および資料のご準備をよろしくお願いいたします。（詳細については、若干の変更があるかもしれません。）

記

開催期日：2006 年 8 月 4 日（金）～8 月 7 日（月）
（8 月 4 日の 12:00 までに現地集合；昼食後 13：30 よりセミナー開始）

開催場所：ペンション「ミートウィズ（MEET WITH）」
〒391-2318 長野県諏訪郡原村中央高原 （0266）74-2141

（ハヶ岳西麓に広がる標高 1300m のからまつと白樺に囲まれたテニスコート付きのペンションを貸し切りしました。テニスコートは使用無料です。幹事のほうでラケット数本とボールはお持ちしますが、マイラケットにこだわる方はご持参ください。
ただし、先にもご連絡しましたように、参加人数（38 名）がペンションの容量を若干上回ったため、全てが手狭の状態となりますので、何かとご不便をお掛けすることになると思いますが、悪しからずご容赦ください。）

参加費概算：（学生；20,000 円）（一般；25,000 円）

主 催：名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻 大森研究室
法政大学工学部建築学科 吉田研究室
東京大学生産技術研究所 川口研究室
近畿大学工学部建築学科 藤井研究室
金沢工業大学環境・建築学部建築学科 高山研究室（幹事）

以上

セミナープログラム

8:30				12:00				19:30	
8月4日 (木)				昼食	Session 1	Session 2	Session 3	夕食	
8月5日 (金)	Session 4	Session 5	Session 6	昼食	Session 7	Session 8	Session 9	夕食	Session 10
8月6日 (土)	SPECIAL SESSION (ハヶ岳登山)								
8月7日 (日)	朝食後 解散								

【注意事項】

- 発表にはPCプロジェクターを使用します。PCおよびプロジェクターは、幹事の方で用意します。
- PCを持参されない研究室は、CD-ROM または USB メモリで Power Point ファイルを持参して下さい。(フロッピーディスクは不可とします。)
- Macを使用する方はご自分のPCをご持参ください。
- OHP プロジェクターは用意しませんのでご注意ください。**
- レジュメは38部(両面コピーが望ましい)用意してください。
- 発表時間は13分、質疑応答7分、計20分です。**
- 学生は **1人2回/日** 以上必ず質問をして下さい。
- 3日目の登山では、滑りにくい靴、ナップサック、雨具(傘は使えません)等を用意し、手には荷物を持たないようにして下さい。

「シェルと空間構造に関する夏期セミナー2006」プログラム

8月4日(金)

・12:00 昼食

Session 1(13:30~14:50) (司会:永野 紳一郎)

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 中村 正彦 (金沢工大; M1) | 逆転懸垂型シェルの力学的性状に関する研究~開口寸法の違いによる影響~ |
| 高山 誠 (金沢工大) | 逆転懸垂型シェルの力学的性状における縁梁の影響 |
| 縣 知弘 (金沢工大; M2) | 4枚合わせ HP Shell の力学的性状に関する研究 |
| 樋口 直也 (豊橋技科大; D1) | RC造腰壁の形状、寸法の違いが柱の破壊性状に及ぼす影響 |

—休憩—

Session 2(15:00~16:20) (司会:西村 督)

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 陳 商煜 (名大; D1) | White noise を用いた膜張力測定装置の開発 |
| 小澤 雄樹 (立命館大) | 張力導入順序が応力分布に与える影響について |
| 中澤 祥二 (豊橋技科大) | 空間構造の耐震性能評価とリスクアナリシスについて |
| 吉中 進 (東大) | 分散型 MTMD を用いた大スパン建築構造の振動制御 —アーチ振動台実験— |

—休憩—

Session 3(16:30~17:50) (司会:大森 博司)

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 松原 宏 (名大; D1) | 空間構造の新しい耐震診断法の提案に向けた基礎的研究 |
| 大塚 彩 (東大; M1) | 天井落下と非構造材の安全性能評価について |
| 服部 真子 (東大; M2) | 地震による大規模集客施設の天井落下被害について |
| 川口 健一 (東大) | 大規模集客施設内部の安全性について |

・18:30 夕食

8月5日(土)

・7:30 朝食

Session 4(8:30~9:50) (司会:中澤 祥二)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 藤井 大地 (近大) | 位相最適化手法を用いた制震機構の創生 |
| 高濱 亮太 (東大; M1) | 限界状態設計法と免震構造の設計法 |
| 都築 秀和 (大同工大; M1) | 非線形振動モデルの力学および振動特性 |
| 橋本 慶彦 (大同工大; M2) | 非線形振動モデルの振動台実験 |

—休憩—

Session 5(10:00~11:20) (司会:山田 耕司)

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 萩原 伸幸 (大同工大) | 非線形系のエネルギー応答推定における分数調波振動の影響と地震波入力への検討 |
| 西村 督 (金沢工大) | 摂動法を用いた弾性保存系の安定境界予測手法 |
| 平木 泰行 (近大; B4) | 均質化法を用いた材料の設計に関する基礎的研究 |
| 松本 慎也 (広大) | 木質構造物のための構造解析モデルに関する研究 |

—休憩—

Session 6(11:30~12:10) (司会:吉中 進)

- | | |
|---------------|------------------|
| 森 哲也 (東大; M2) | 実大展開アーチの展開実験について |
| 大矢 俊治 (東大) | 展開構造の載荷性能について |

・12:10 昼食

Session 7(13:00～14:20) (司会:大矢 俊治)

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| 木村 俊明 (名大; M1) | 自由曲面シェル構造の形態創生に関する研究 |
| 石川 敬一 (名大; M2) | ESO 法による骨組構造物の弾塑性を考慮した形態創生 |
| 桜谷 建太 (近大; B4) | 力法の基本原理にもとづくシェルの形状最適化に関する研究 |
| 能井 宏弥 (近大; M1) | 力法の基本原理にもとづくシェルの形状と位相の同時最適化に関する研究 |

—休憩—

Session 8(14:30～15:50) (司会:萩原 伸幸)

- | | |
|------------------|---|
| 柯 宛伶 (東大; M1) | 拘束条件付きの極小曲面解析について |
| 古田 寛生 (大同工大; M1) | 制約条件の操作によるテンション構造の形態解析 |
| 田村 尚土 (名大; M2) | 構造最適化手法を用いた建築構造創生支援ソフトウェアの開発
～保有水平耐力を考慮した最適設計～ |
| 川田 知典 (東大; M1) | 群論と空間構造について |

—休憩—

Session 9(16:00～17:40) (司会:藤井 大地)

- | | |
|----------------|---|
| 安藤 正英 (名大; M2) | ケーブルネット構造の解析手法に関する研究 |
| 船橋 健吾 (名大; M1) | 空間構造物における冗長性評価手法に関する基礎的研究 |
| 小林 春之 (名大; M2) | 不確定性を考慮した建築構成要素のライフサイクルデザインに関する研究 |
| 内藤 雅子 (名大; M1) | 多目的遺伝的アルゴリズムによる集合住宅のライフサイクルデザインに関する研究 |
| 伊藤 智幸 (名大; M1) | 遺伝的アルゴリズムによる鋼構造物の最適設計に関する研究
～ブレース混合構造への適用～ |

・18:00 夕食

Session 10(19:30～20:30) (司会:川口 健一)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 山田 耕司 (豊田高専) | 貝はシェルか？卵はシェルか？ |
| 永野 紳一郎 (金沢工大) | 火災旋風発生条件の検討 |
| 大森 博司 (名大) | 建築構造システムプロポーザの展望 (その2) |